

◆釣り教室レポート【ビギナーのための釣り教室】

9家族21人が歓声！！ 東京湾・八景沖 LTアジ

サンスポ推薦船宿会主催の「第101回ビギナーのための釣り教室（特別協賛＝ハヤブサ）」が7月13日、横浜市・金沢漁港『蒲谷丸』で開催された。9組21人の家族が、上野ひとみさんらインストラクターの指導を受けてライトタックル（LT）のアジ釣りに初挑戦。元気いっぱいの子供たちと、ピチピチのアジが船中に躍った。

「よーし！来たよ！！」。船中第1号をヒットした仲村海飛（かいと）くんが、懸命にリールを巻く。きらきらと銀色に輝く元気いっぱいの魚体が船中に躍った。出船前、蒲谷政徳船長が参加者に指導した「底から1・5～2メートル上の指示ダナを守る。50センチ刻みのコマセワークでタナまで持ってくる」。その2つのポイントを、みごとに実践してみせた。「とにかく釣りが大好き」と言う海飛くん。青イソメの餌付けや仕掛けの交換、オマツリをほどいたりと全て手際よく、教室の優等生。弟の玲音（れおん）くんも「大きいのが来たよ」と竿を絞り、競い合っていた。

お父さんたちもファミリーフィッシングを楽しんだ。子供に船釣りをせがまれ参加した須藤淳一さんは、親子3人で20尾を突破。「魚を釣ってすごく喜ぶ子供たちを見て、私もうれしくなりました。また子供と一緒にいきたいですね」と笑みがこぼれた。齋藤一馬さん親子は、上野ひとみさんのレッスンを受けるとメキメキと竿さばきが良くなり、大型のサバ交じりで釣果を伸ばした。「息子が『今、ビクビクとしたよ』と言うから、アタリが分かってきたみたいですね。ここまで船酔いもしていないし」と優しく見守る。遊橋哲夫さんは「子供に付き合ってもらって船に乗ったんですよ」と苦笑い。「子供も楽しんでいる。出船前のレッスンで釣り方がよく分かったみたいです」。そろって親子の絆を深めた。

全員が型を見て半日釣りの教室が終了。船長は「みんな最後まで頑張って釣り、お土産を持って帰れた。また釣りを楽しんでほしいですね」。その家族は「また釣りに連れて行ってね」「よし、行こう」と、次回の釣行の約束を交わす。夏休みを先取りした9家族は、満面の笑みを残して船を下りた。

☆インストラクター・上野ひとみさんの話 「参加者の皆さんは集中して釣っていたので、レッスンののみ込みが早かったですね。私は、出船前に船長が指摘したポイントをフォローしたくらいです。前半と後半では竿さばきが全く違って見えました。今後はアジ以外の釣りにもチャレンジしてほしいですね」

◎楽しい！！大満足 参加者の声

◆坂部大輝くん

「サバが掛かってものすごく引いた。でもバラしてしまっって残念」

◆高橋圭太くん

「釣果はお父さんと同じくらい。餌付けやコマセ詰めも自分でできた」

◆直塚亮太くん

「初めての船釣り。アタリは有ったけどなかなかハリ掛かりしない」

◆長島弘光さん

「船長や上野ひとみさんのレッスンが実って、2人とも釣れました」

◆吉田健一さん

「初めて2人で船に乗りました。お土産を持って帰れてよかったです」

第101回釣り教室参加者 『蒲谷丸』		
齋藤 一馬さん (34)	坂部 鉄太さん (38)	須藤 淳一さん (37)
竜都くん (6)	大輝くん (9)	一樹さん (7)
		美月さん (5)
高橋 悟さん (51)	直塚 俊介さん (57)	長島 弘光さん (52)
圭太さん (10)	亮太さん (7)	拓海さん (11)
仲村 信哉さん (36)	遊橋 哲夫さん (41)	吉田 健一さん (39)
真由美さん (34)	航希くん (11)	智哉くん (7)
海飛くん (9)		
玲音くん (7)		

【主催】 サンスポ推薦船宿会

【特別協力】 サンケイスポーツ

【特別協賛】 ハヤブサ (インストラクター2人、仕掛け21組)

【協賛】 マルキュー (インストラクター1人、特鮮海づりイソメ21袋)、

パン粉のフライスター (パン粉21袋)

楸モン・スイユ (ミニホイッスル21個)